

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態を大切に、道徳の授業や人権教育(人権週間を含む)を大切にして、全学級道徳の授業に力を入れ、懇談会等でも日頃の様子や授業の様子について話題に出すようにする。 ・たてわりふれあい活動や委員会活動の取り組みを充実させ、小田小ならではのよい伝統である異学年交流の日常化を継続していく。ペア学年に関わらず、学習や行事を通じた意図的な交流の充実を進めていく。
担当	児童指導部・道徳部

豊かな心に関わる本校の状況
<p>○児童のよさ 本校の児童は、落ち着いて学習に取り組み、協力して活動に参加できている子が多い。素直に大人の話の聞いたり、自分の話をしたりすることができる。</p> <p>○児童の課題 前期の生活目標を「あいさつをしよう」に絞っているが、自分から元気に挨拶できることが少ないのが現状である。決まりを守ろうとする気持ちはあるものの、道徳的な価値については、理解していても行動に表せないことも多い。 また、身の回りの課題に自分から向かっていこうとする意欲が弱い面もあり、粘り強く解決せずにそこから逃げてしまう児童も多い。</p> <p>○YPアセスメント ほとんどの児童がクラスで安心して生活している一方、低自己評価等の位置にいる児童が各クラス存在する。</p> <p>○問題行動 いじめについては、積極的に認知を行い、子どもたちの小さな問題も吸い上げるような体制をとっている。困っていることは、早い段階で教師に報告している児童が多い。また、小さないさかいはあるものの、大きな暴力行動は少ない。</p>

今年度の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○道徳科の授業の充実と道徳教育の推進 ○人との関わりを大切にして、思いやりの心と自尊感情を育て、自分や相手を大切にする心を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○各週の学年研の中で、道徳科の授業や道徳教育に関わる評価について話す時間を持ち、子ども理解を継続的に行う。 ○道徳的諸価値を理解し、行動に移そうとする心情を育む道徳科の授業の展開について、教師間で共通理解を図り授業づくりに生かす。 ○縦割りふれあい活動や委員会活動の取り組みを充実させ、異学年交流の日常化を図る。 ○前期の目標を「あいさつをしよう」と1つにしぼり、朝会を通じて各学年での取り組みを全校に伝えていく。その中で、学習活動でお世話になったKCSの方に感謝の気持ちを伝えられるようにする。 ○5月・6月にかけてYPアセスメントを実施し、クラスの状況を把握できるようにする。クラスの実態に合った、横浜プログラムを授業に取り入れ、「一人も独りにしない」クラスづくりに生かしていく。 ○月一回いじめ防止対策委員会を実施し、校内の状況を確認し、情報共有を行う。ケースによってSCやSSW、外部機関とも連携を図る。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○各週の学年研の中で、道徳科や道徳教育に関わる評価について話す時間を持ち、子ども理解を継続的に行う。 ○授業参観や懇談会等で話題にし、家庭との連携を高め、双方が同じ目線で子どもを見守ることができるような環境づくりに努める。 ○理解した道徳的諸価値の理解に基づいて、道徳的実践意欲を高められるような授業展開について共通理解し、授業づくりに生かす。 ○運動会での縦割りふれあい活動や委員会活動の取り組みをさらに充実させ、異学年交流の日常化を図る。 ○後期の目標を「整えよう」とし、朝会を通じて各学年での取り組みを全校に伝えていく。 ○12月に人権週間を設定し、発達段階に合わせた学習を行う。 ○10月・11月にかけてYPアセスメントを実施し、クラスの状況を把握できるようにする。その後実態に合わせて横浜プログラムを実施する。 ○月一回いじめ防止対策委員会を実施し、校内の状況を確認し、情報共有を行う。ケースによってSCやSSW、外部機関とも連携を図る。6年生においては中学とも連携をとる。